

11月16日に都城市沖水川市民緑地で実施された「令和7年度宮崎県総合防災訓練」に参加しました。

宮崎県総合防災訓練は、迅速かつ的確な災害対応活動が実施できるように防災関係機関や各種団体、企業等との協力体制を確認するために毎年実施されています。

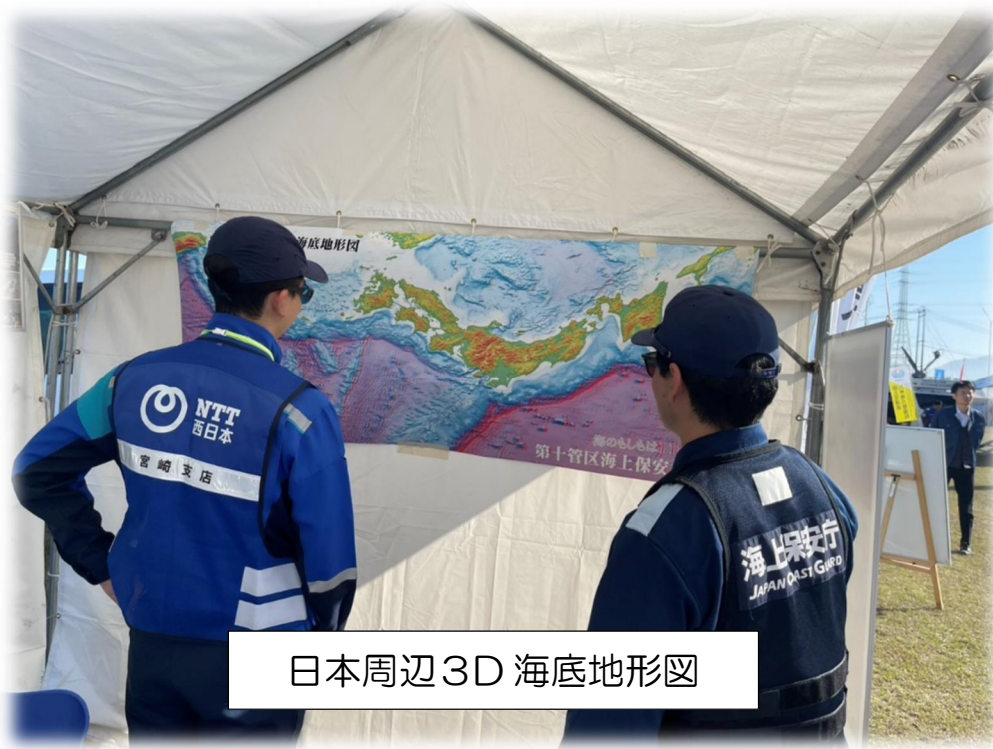
訓練は南海トラフ巨大地震を想定し、海上保安庁では航空機による被害状況調査や救助活動の運航調整、多数の死者が発生した際の検視活動を実施するべく、関係機関と手順の確認を行い、体制強化を図ることが出来ました。

被害状況調査を行う鹿児島航空基地の航空機



防災展示ブースでは市民の方が防災について触れていただくため、各種インフラ事業者や各種業界団体とともに、海上保安庁で対応した災害のパネルや日本周辺3D 海底地形図の展示、VR ゴーグルなどを使用して海上保安庁の業務紹介を行いました。

防災展示ブース



日本周辺3D 海底地形図



VR ゴーグルによる海上保安業務体験

今回の訓練を今後の災害対応能力向上に活かし、各機関と協力し、災害時における国民の安心安全に繋げていきます。